

自己評価票

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念とは別に、香寿庵独自の理念を作りフロアーに掲示をしている。	○	独自の理念を掘り下げ、よりその人らしい生活をしていただけるよう身近なものに作り上げていきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	いつでも、目に入るようフロアーに掲示しケアワーカー会議の場などで意見交換を行っている。	○	今後も意見交換を行えるよう努めていく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の人々には、運営推進会議などの参加をして頂き又、ご家族にはケースカンファレンスを通して参加して頂き理解・協力を願っています。	○	今後も継続し、特に地域の人々に理解していただけるように地域での買物を通してアピールを行う。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常の買い物や散歩などで、挨拶をこころがけ、努めている。	○	気軽に立ち寄って頂けるように努める。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域主催の盆踊りや、秋祭り参加や、毎月廃品回収の協力を行い、交流に努めている。	○	地域活動により参加し、交流を図るよう努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進委員会などで、認知症高齢者の生活状態を話していき、少しでも役に立てよう取り組んでいる。	○	今後委員会で話合っていく、情報の提供を行っていく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	意義を理解し、評価を活かし改善に取り組んできた。	○	スピーカーに関しては災害時や緊急時に関わり、放送をなくす事は難しいが、書式などの改善は努めた。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、香寿庵での利用者様の生活ぶりや、生活する上での色々なリスクを伝えて行き、意見をだして頂きサービスに生かせるよう努めている。	○	運営推進会議では報告や話し合いを行い、サービス向上への意見を頂き、活かしていく。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進委員会などで、議題にはあがるも、取り組みまでにはいたらず。	○	市町村担当者を通して共にサービスの向上に取り組んで活けるように努力をする。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ケアマネを通して学び又、ご家族様に説明を行っている。	○	ご家族様に活用するように話をし、実際に取り組まれた家族様もおられ、今後も活用して頂けるよう支援を行う。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「高齢者を虐待から守るために」等のセミナーに参加し虐待防止について学び防止に努めている。また、施設内にも委員会があり、他部署との連携を行っている。	○	CW会議などで伝え、施設内でも研修を行い、防止に努めている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	○	今後十分な説明を行い、理解・納得を図っていく。
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	外部へ表せる機会を設けていない為、運営推進会議を利用していきたいと思います。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	○	担当者を決め、ご家族様にはご協力頂きサービス担当者会議にも参加して頂き行っている。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	職員にはCW会議の場で共有しているが、運営推進会議を利用し外部者へ表せる機会にし、運営に反映させて行きたい。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	○	反映させているかは職員によって温度差は感じるなので、確実に行いたい。
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	○	今後も柔軟な対応ができるよう職員の確保に努める。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動では、法人も理解をしており無いが、離職については、努力をするが、難しい。	○	離職については努力をするが難しい。ご利用者様の視点からいうと
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外での研修を予定。また実践報告を法人外で行う機会を設け、計画的に経験をさせていくことを進めている。	○	法人内の研修は勿論、法人外の研修を今後も計画していくよう努める。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	相互研修ということで、GH協議会でも話があり、参加をしたり受け入れをさせていただき、よい勉強になった。個人的に交流する機会をもっており、刺激を受けている。	○	ご利用者様の支援に支障がないのであれば、サービスの質を向上させていくためにも相互訪問などの活動に取り組んでいきたいと考える。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	勤務時間に休憩が取りにくいとの声が上がリ、あくまでも時間を決め、工夫をしたりし取り組んでいる。	○	コミュニケーションを取るよう努力はしている。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の個々の努力や実績を把握し、雇用形態の変更を行ったりし、向上心を持って働けるように努めている。	○	常により良い職場環境にしていきたいと考えている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	不安な様子が見られたら、話を傾聴していき、求めている事を聞き安心して頂ける機会をつくり、受け止める努力をしている。	○ 自分の意図い伝えられないご利用者様にたいしての、心の変化を受け止め方を職員と話し合い努力していく。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時・電話又、ケアプラン更新の際にご家族様と話し合い少しでも不安解消に繋がる努力をしている。	○ 見学・面会に来られた時にでも些細な事でも話していただき、受け止める努力をしている。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話の傾聴から必要としている支援、サービスを見極め出来る限り対応に努めている。	○ サービスを提案・紹介をし対応に努めている。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所時にご利用者様の性格、習慣を聞き、職員や他のご利用者様となじんで頂けるような、雰囲気工夫している。	○ 見学の際には必ずご本人様とご家族様と一緒にお願いしています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と常に一緒に調理・買い物・レクの参加を通して過ごし、支えあう関係を築いている。	○ 人生の先輩ですので、日常生活を通して、会話等で関係を築いている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者様の受診(眼科・整形)などは、ご家族様の協力を得て受診して頂き、一緒に本人を支えてくださる。	○	ご家族様には常に一緒に支えていきたいと思いますと伝え、最近では受診への付き添いを協力下さっている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様・ご利用者様・職員と共に外食会やクリスマス会に参加して、コミュニケーションを取っていき、より良い関係を築いている。	○	参加されないご家族様に、今後参加頂けるような、雰囲気や声かけをしていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	以前住まれていたご近所の方や、友人・親戚等の面会があり、香寿庵内で話されておられる。	○	認知症が進まれ、ご本人様が馴染みの人を忘れておられる場合もあるので、面会時、紹介させて頂くこともある。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者様同士気の合わない人もおられ、常に職員がなかに入り、孤立しないようにつとめている。	○	今後も継続して行きたい支援のひとつです。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院された、ご利用者様の面会に行かせて頂いてご家族様と話し合い退院後の不安解消に繋がるように他のサービスを伝えている。	○	今後も継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様にとっての安心した生活を継続して頂くには、出来る事、出来ない事を考え又、ご利用者様の希望を話の中で感じ取り、検討している。	○ ご利用者様の自宅での生活を継続出来るよう、安心出来る空間作りを大切にしている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様やご利用者様の話の傾聴で把握していき、センター方式に記入している。	○ 馴染みのタンスや今までの写真などを持参していただき、会話の中で把握したり、ご家族様とのコミュニケーションを重ね把握に努めている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の生活の様子を記入していき、一人ひとりの心身の状態や、その人の持っている力を見極め総合的に把握するように努めている。	○ 個人ケースに記録し、センター方式を利用し、心身状態や現状を総合的に把握するように努めている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族様、職員と共にケアの在り方について話し合い、より良いケアプランを作成するように努めている。	○ 担当者を決め、ご本人やご家族様との信頼関係を築き、ご本人の意見を反映し介護計画を作成している。今後も継続していく。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ご利用者様の話の内容を聞き又、ご家族様とのコミュニケーションを常にとり、現状に即した計画を作成している。	○ 担当者をはじめ、CW間で話し合い、ご家族様には電話で相談・確認をし計画を作成している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	センター方式を取り入れ、日々の様子を記入していき又、D-5シートに気づきを記入、介護計画の見直しや情報の共有に活かしている。	○	介護計画の見直しに活かしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設のデイサービスに来られる、民謡ボラ・すずらん会・大正琴ボラ等の活動に参加している。	○	外泊・外出などは注意していただきたいことを伝え、要望に応じています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	実習や研修の受け入れも行っています。	○	実習・研修を通して現場を見て頂き、認知症への理解をして頂いています。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	施設内になりますが、意見交換をし、サービスではないが、必要性に応じて利用し支援していただいている。	○	今後利用していけるよう柔軟な支援を行っていきたいと考えます。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	法人内での地域包括支援センターとの協働に努めている。	○	今後いろいろな面での協働を考えている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	特養併設の診療所と連携しており、週4日の受診があり、看護師が日中勤務しており、適切な医療が受けられている。	○	他の医療機関とも連携で、適切な医療を受けて頂けるように支援をしています。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院の精神科の医師と関係を築いており、認知症の状態に応じて治療を受けられるよう支援をしている。	○	ご利用者様を中心とし専門医師に相談したりしている。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	特養併設の診療所を利用しており、色々な健康管理の相談を行い支援をしている。	○	ご家族様の希望もお聞きしながら、看護職員のアドバイスをもらい健康管理に努めている。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された、ご利用者様の面会に行かせて頂いてご家族様と話し合い退院後の不安解消に繋がるように他のサービスを伝えている。	○	早期に退院出来るように病院関係者と相談に努めている。今後も継続したい。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今の所ターミナルケアは導入しておらず、重度化したご利用者様は併設の特養入所をご家族様と話し合い理解していただいている。	○	香寿庵の環境が恵まれており、現在終末期にむけた支援をしていないが、法人として特養の方針は共有している。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度になられたご利用者様はご家族様とも相談し、併設の特養入所になる。	○	取組んでいないが、今後の変化に備えて話し合いは必要ではないかと感じる。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご家族様と十分な話し合いを行い、少しでもダメージを防ぐよう努めている。	○	極力住み替えを行わないように努め、今後もダメージを防ぐように努める。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	CW会議などでも何度も伝えている。話し合いには気を付けて対応している、個人情報の取り扱いにも注意してい	○	今後も誇りやプライバシーを損ねるような声掛け、対応、個人情報の取り扱いも継続して気を付けて扱う努力を行う。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	手伝いや、レクの参加など、ご利用者様の意思を尊重しつつ説明を行い又、不穏時のご利用者様の話の傾聴を行い安心した生活を送れるよう支援している。	○	今後も自己決定の場を提供して生けるよう継続する。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日ゆっくりとご利用者様のペースに合わせた支援をしている。	○	行事などがあれば、職員の都合で、動いて頂く事もあるが、なるべくご利用者様に合わせた支援をしていく。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご利用者様ご自身で服を選んで着ておられ、コーディネートがおかしい場合は、尊厳を傷つけないよう着替えて頂き、美容院は、ご家族様と行きつけの店に行かれる方もおられる。	○	今後も継続していく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	手伝いが困難になられてきているご利用者様に対してできる事を考えていき、一緒に色々な事をして行きたい。
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	嚥下が低下されているご利用者様には、飲み込みやすい食事を提供していく。
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	排泄パターンが定まらないご利用者様の支援の方法を話し合い、失敗のない排泄を取組んで行きたい。
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	その時のタイミングで不穏のなられ、入浴されないご利用者様に対しての今後の職員の声かけの対応が望まれる。
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	夜間不安の為覚醒されたご利用者様の話を傾聴してき、安心して、眠って頂くよう支援している。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	認知症が進んでられ、何が出来るか考え少しでも混乱なく生活ができるよう、支援していく。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	財布を持っておられるご利用者様もおられ、職員と一緒に買い物に出かけ支払いをしていただけるような支援をしている。	○	今後も継続していく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	何か気になり階下に降りられ、外出を希望された場合、可能な限り一緒に戸外にでかけられるように支援している。	○	夜間は難しいところではありますが、傾聴し、その中で解決できる糸口をみつけたり、明日一緒に、外出すると伝え納得して下さる声かけし支援をしている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	職員と一緒にの外出会や家族様も交えての外出会も実施しており、ともに出かけられる機会をつくっている。	○	ご利用者様の都合で参加されない場合は出来るだけ都合の良い日時を考え参加して頂けるよう支援していきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様が希望されたり、用事のある時はご家族様と話す機会をつくっている。	○	年賀状・招待状などのあて名書きや電話などで話される機会を今後も継続していく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも面会に来ていただけるような雰囲気をつくっている。	○	今後も継続していく。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていない。	○	施設内での身体拘束廃止委員会に参加し、他部署との情報共有に努めている。グループホームでの拘束について意識を高く持ち、維持していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室はご利用者様自ら鍵を閉められ、玄関は防犯のため鍵をかけている。	○	鍵がかかっているということでご家族様に安心していただいている部分がありますが、「鍵が開いている」と常に思い、出入口には開くとセンサー（メロディー）が働くようにし注意を払っています。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間巡視時、プライバシーに配慮しながら、見守りを行っており、日中は常に所在の確認をしている。	○	常に所在確認を行い、安全に配慮している。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	職員同士で話し合い、危険を防ぐ取り組みをいている。	○	今後もなくすのではなく、他の方法がないか、話し合っって危険を防ぐ取り組みを継続する。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	cw会議等で話し合ったり、色々な勉強会に参加して、事故防止に取り組んでいる。	○	施設内での介護事故発生防止委員会に参加し、他部署との情報を共有し、アドバイスをいただいたり、香寿庵で完結しないよう努めている。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作成しており、CW会議などでも、何度も話し合い又、法人の勉強会にも参加している。	○	今後も話し合い、イメージトレーニングを行い、どのケアワーカーでも対応できるよう努める。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	併設の特養の職員と共に避難訓練に定期的に参加をしている。	○	地域の方々の協力を得られるよう働きかけていく努力をする。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入所時や面会時に起こり得るリスクをご家族様に話していき、何かあればすぐに連絡をしている。	○	転倒や誤嚥等の事故が起こった場合、速やかに対応を行いご家族様にも連絡を行っています。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	申し送り等を通して、情報を共有して速やかに受信できる対応をしている。	○	体調の変化が見られたら、すぐに医務に連絡を行い、速やかに対応を行っています。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬誤りが起こらないよう日付を記入していき、薬が替わった時は、様子観察を行い症状の変化に努めている。	○	毎日の服薬後や新しい薬を服薬して頂いて症状の変化が見られたら、すぐに医師に連絡をとり、対応を確認しています。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	各日のヨーグルトの提供や、日常的に体操を行って体を動かす運動に取り組んでいる。	○	強度の便秘のご利用者様には、医師と相談を行い薬を服薬して頂いています。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎朝・夕に口腔ケアを実施しており、また、うまく磨けないご利用者様の支援を行っている。	○	年一回の歯科検診を行い又、ご利用者様の毎日の様子などで、異常が見られたら、すぐに歯科受診を行っています。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分チェック表に一日の摂取量を記入していき、一人ひとりの状態を把握している。	○	管理栄養士の作成した献立を基に調理を行っており栄養バランスを考えており、主治医よりも栄養バランスをはじめ、個々に応じたカロリー摂取のアドバイスもいただいています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症予防対策委員会を月1回実施しており、実行している。	○	マニュアルも用意しており、もし感染症が、発生しても、速やかに対応出来る体勢になっている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日買い物に行き、新鮮な食材で調理を行い、夜間帯で調理用具等のハイター・熱消毒を行い、衛生管理に努めている。	○	施設内にて感染症予防対策委員会があり、他部署との連携、管理栄養士による指導もいただいています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前や階段の上がりスペースに観葉植物を置くなど、家庭的な雰囲気になるようにしている。	○	法人全体で取り組んでおり、今後も季節の花を置くなどし努力をする。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、リビングに観葉植物や小物を置くことにより、家庭的な雰囲気になるようにしている。また、テーブルに季節に応じた花を置いている。	○	特養と併設しており、館内放送が聞こえる為、緊急時以外は使用しないよう協力を願っている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下に2人用のソファを置くなど、一人になれる空間を確保している。	○	共用空間もテレビ前だけではなく、ダイニングも使用出来るよう工夫している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	長年使用されておられたタンスや写真を置かれ、 居心地よく過ごしていただける工夫をしている。	○	昔の写真等を持参して頂き、ご利用者様と一緒に 見て頂き、回想を通して話を傾聴している。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	常に換気に気を配り、冷房・暖房等の温度調整に 配慮しながら対応している。	○	器具による暖房だけではなく、膝かけなどの利用 も考えている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	廊下、便所、洗面所、浴室に自立した生活を送 れるよう手すり等を設置して、使い勝手の良い工 夫をしている。また、一時的に車イス使用とな った場合、併設のエレベーターが使用できるよ うになっている。	○	バリアフリーとなっており、安全で自立した生活 を送って頂けるよう今後も継続する。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	混乱や不安な様が見られた場合、速やかに声か けを行い安心した生活をしていただけるよう工夫 している。	○	今後も継続して工夫していく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	玄関前、ベランダにプランターを置き、季節に 合った花を植え、一緒に水やりをしたりして活動 している。	○	ベランダには、季節の風を感じていただけたり、 空を眺めたりとイスをおいたりしています。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者が自宅で生活をされていたように香寿庵でもしていただけるよう、家事、特に食事を中心とした近所への買物、食材を洗ったり、刻んで調理し、仕上げ、配膳をし、一人ではなく多くの人で食事をする楽しさ、喜びを感じていただいています。また、併設となっているデイサービス・特別養護老人ホームの行事などにも参加し交流の場として参加しています。